

福祉系列一日研修(6月15日 土曜日)

2・3年生福祉系列の生徒15名が、最新の福祉機器の見学や高齢者・障害者の疑似体験ができる大阪のエイジレスセンターに行ってきました。



目的

最新の福祉機器の見学や高齢者・障害者の疑似体験を通じて、福祉に対する興味・関心をひきだし、今後の学習に結びつける。

生徒の感想

- Aさん エイジレスセンターに行って学んだことは多くあり、中でも車いす、トイレ、お風呂など私はあんなに便利なものがたくさんあるのだと驚きました。とても軽い車椅子は押している側も乗っている側も楽でした。ただ、一人で車いすを動かすのは少しの段差でも恐怖を感じました。できるなら支えてくれる人が居て欲しいと思いました。なので、私は利用者の方が安心して生活できるような介護ができることを目指したいと思いました。
- Bくん 実際に見たことのあるものや授業で学んだ福祉用具があったが、全く知らないものもあった。実際に様々な機器を使って高齢者の体験をしたとき、とても危険だと感じた。うまく足を上げることができなくなり、普通に立っているだけで転びそうになった。この体験で、普通に歩いているように見える高齢者に対しても支援することが大切だと思った。
- Cさん 一番印象に残ったのは、あの画期的なアイテムでした。できないことだけを補う道具がたくさん発明されており、すごく便利だと思いました。その他にも車いすの体験や足が思うように動かさなくなる体験などもでき、色々考えるきっかけとなりました。私たちが簡単にできるドアの開け閉めも車いすを利用している人にとったら一苦勞で、大変だなと体験を通じて思いました。よい体験ができました。